

# 古代中国占いの源泉

・・・陰陽五行の法則・・・

## 第1回 干支と陰陽五行



- 干支システムの基礎  
四柱推命・六壬神課金口訣
- 八卦システムの基礎  
周易・断易・形勢風水

講師 池本正玄

# 第1回 干支と陰陽五行

十二支は江戸時代まで、時や方位を表すのに使われていました。

今では

「あなたは何年生まれですか？」

「私は寅年です」といった会話か

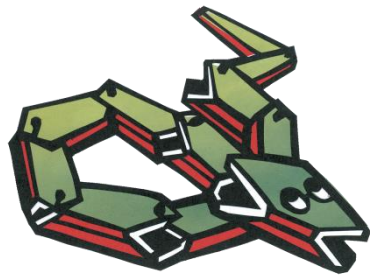
年賀状に干支の絵を描くくらいでしょう。

2013年は「へび」年で巳です。

干支では癸巳(みずのとのみ)と記載し

十干の癸と十二支の巳の組み合わせになっています。

十干と十二支はそれぞれ循環しており、2014年の干支は甲午(きのえうま)になります。



十二支は、子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥です。

1番目「ねずみ」は子 ね

2番目「うし」は丑

3番目「とら」は寅

4番目「うさぎ」は卯 う ……ベトナムでは猫

5番目「たつ」は辰

6番目「へび」は巳 み

7番目「うま」は午

8番目「ひつじ」は未

9番目「さる」は申

10番目「とり」は酉

11番目「いぬ」は戌

12番目「いのしし」は亥 い ……中国では豚のこと  
と書きます。

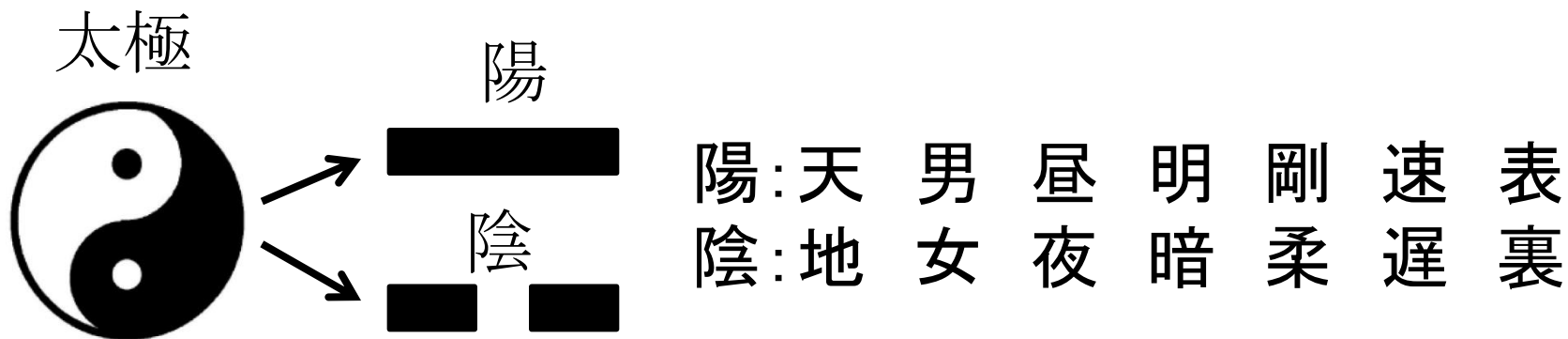


漢字を  
覚えよう



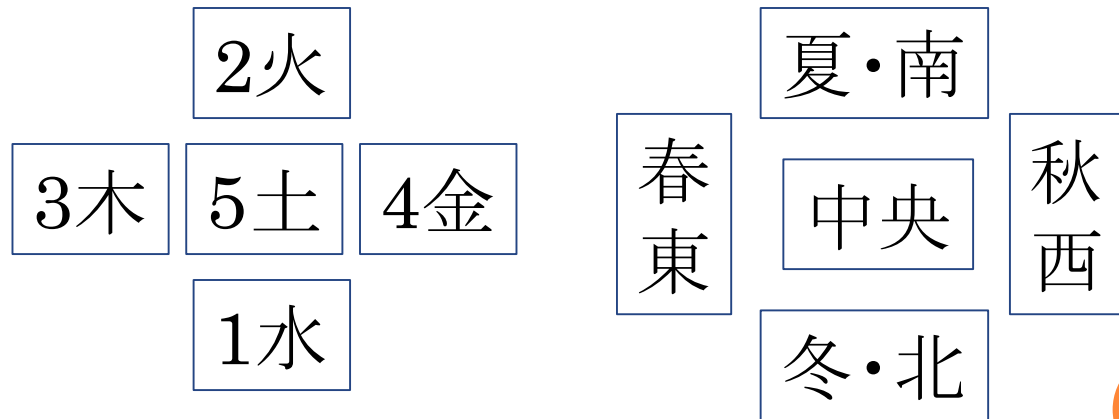
# 陰陽五行

陰陽は、太極(混沌)から最初に分かれたものです。



【五行】は、春秋戦国時代の「尚書」洪範に

1に水 潤下  
2に火 炎上  
3に木 曲直  
4に金 従革  
5に土 稼穡  
とあります。

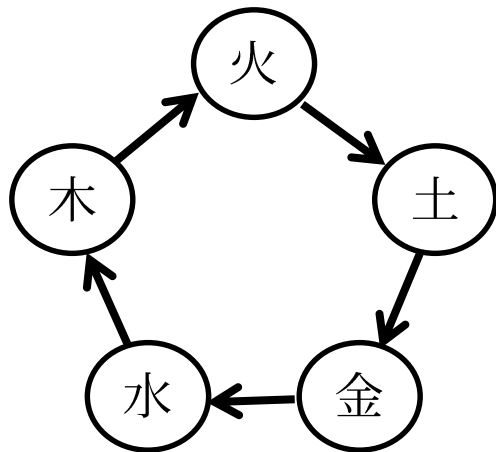


# 五行の意味

五行	もく 木	か 火	ど 土	きん 金	すい 水
四季	春	夏	土用	秋	冬
方位	東	南	中央	西	北
色	青	赤	黄	白	黒
味	酸っぱい	苦い	甘い	辛い	塩辛い
五常	仁	礼	信	義	智
天候	風	晴れ	曇り	雷	雨
病気	肝臓	心臓	脾臓・胃	肺臓	腎臓
地理	林野	高山	平地	道路	河川

# 五行の相互関係

相生 木生火  
火生土  
土生金  
金生水  
水生木

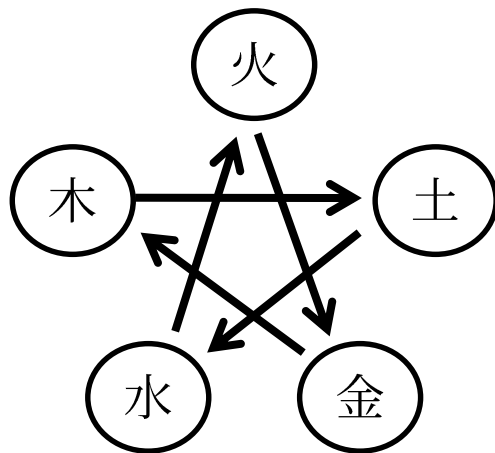


互いに成長を促す関係

比和 木と木  
火と火  
土と土  
金と金  
水と水

互いに競う関係

相剋 木剋土  
火剋金  
土剋水  
金剋木  
水剋火



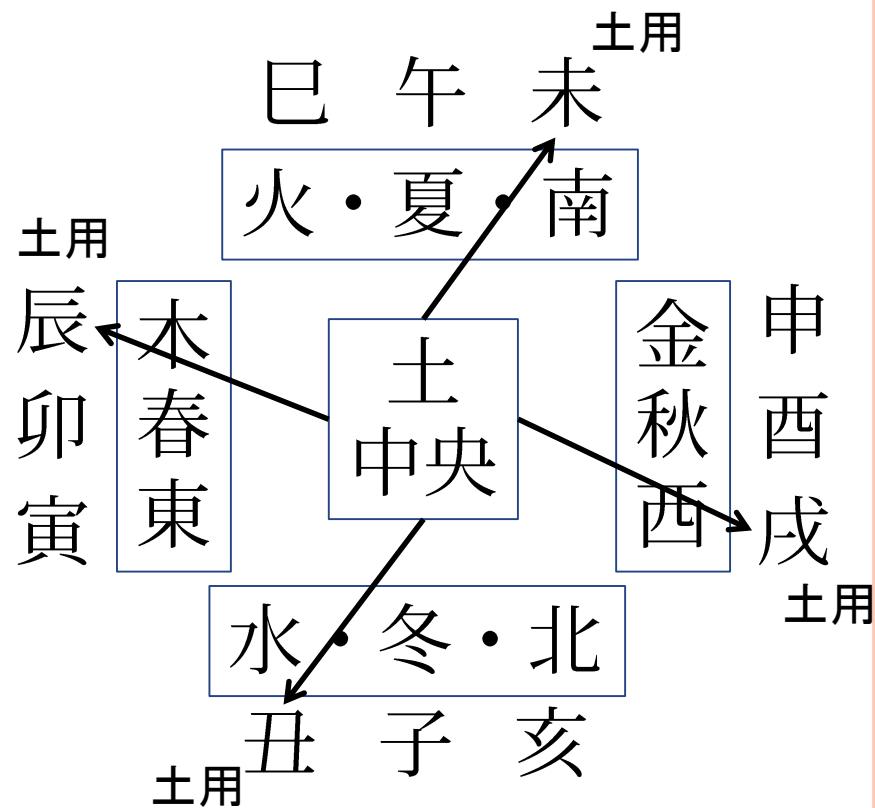
互いに抑制、制御しあう関係

相剋の逆を反剋という



# 十二支と陰陽五行

	支	陰陽	五行	旧月	節季	時間
1	子	陽	水	十一	大雪	23~01
2	丑	陰	土	十二	小寒	01~03
3	寅	陽	木	正月	立春	03~05
4	卯	陰	木	二	啓蟄	05~07
5	辰	陽	土	三	清明	07~09
6	巳	陰	火	四	立夏	09~11
7	午	陽	火	五	芒種	11~13
8	未	陰	土	六	小暑	13~15
9	申	陽	金	七	立秋	15~17
10	酉	陰	金	八	白露	17~19
11	戌	陽	土	九	寒露	19~21
12	亥	陰	水	十	立冬	21~23



1年は立春寅月から始まる。  
1年の終わりが節分になる。



# 十二支の意味

子は、万物を地下で育む時。

丑は、寒気が解けるのを土中で待つ時。

寅は、万物復活して活動を始める時。立春・新暦2月

卯は、草木土を破って芽を出す時。

辰は、万物振るい動く時。

巳は、万物成長し大地に満つる時。立夏・新暦5月

午は、陽気が満ち、陰気動き始める時。

未は、果実となり、それぞれの味わいを出す時。

申は、陽気が衰となり万物呻吟する時。立秋・新暦8月

酉は、万物が成熟して豊かに実っている時。

戌は、陽気消失、万物ことごとく滅する時。

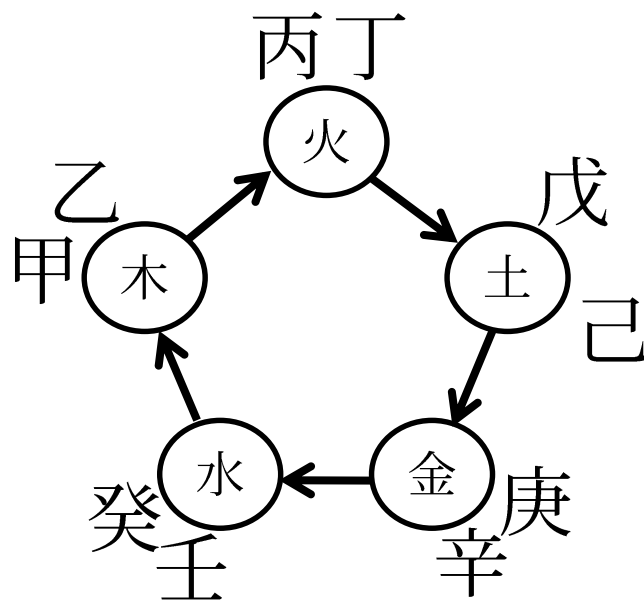
亥は、陰気盛んとなり万物地下にこもる時。立冬・新暦11月



# 十干と陰陽五行

十干は、甲乙丙丁戊己庚辛壬癸です。

1	甲	こう	陽木
2	乙	おつ	陰木
3	丙	へい	陽火
4	丁	てい	陰火
5	戊	ぼ	陽土
6	己	き	陰土
7	庚	こう	陽金
8	辛	しん	陰金
9	壬	じん	陽水
10	癸	き	陰水



えは兄・陽のこと  
とは弟・陰のこと

甲	きのえ
乙	きのと
丙	ひのえ
丁	ひのと
戊	つちのえ
己	つちのと
庚	かのえ
辛	かのと
壬	みずのえ
癸	みずのと

# 十干の意味

甲は、草木の種、土中であって未だ芽を出さない時。

乙は、初春土中より芽を出した苗の時。

丙は、芽を伸ばし成長を開始した苗の時。

丁は、枝葉を伸ばし旺盛に成長した時。

戊は、花が咲き乱れる百花繚乱な時。

己は、それぞれの花独自の芳香を発する時。

庚は、開花も終わりに近づき、受精完了の時。

辛は、種や果実が結実し、それぞれに独自の味がある時。

壬は、種が地面に落ち、次の年を待つ時。

癸は、じっと待機して萌芽の準備をする時。



# 六十干支

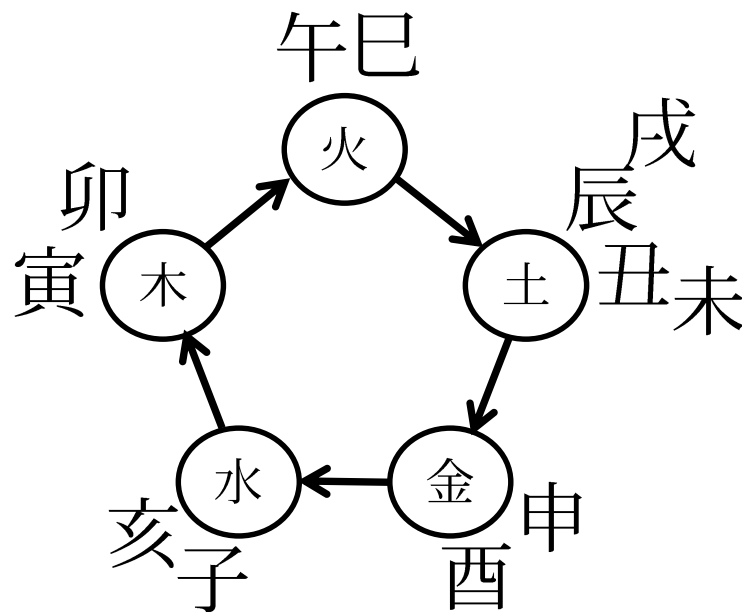
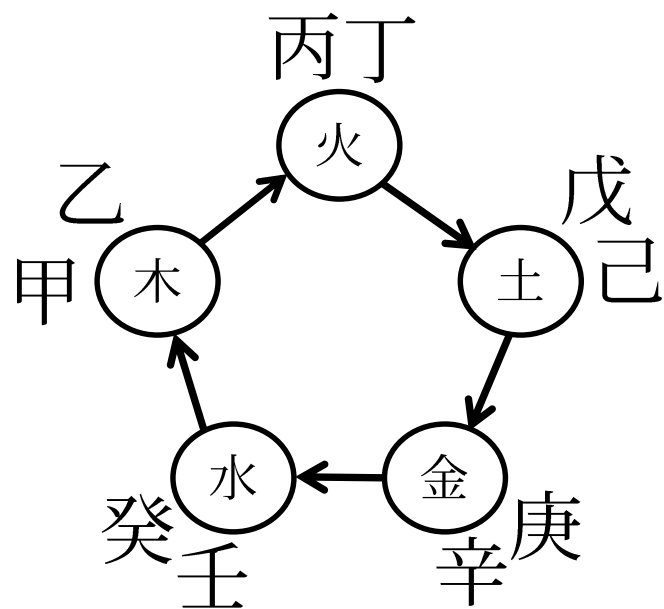
十干と十二支を組合わせると六十干支が成立

旬											空亡
1旬	1 甲子	2 乙丑	3 丙寅	4 丁卯	5 戊辰	6 己巳	7 庚午	8 辛未	9 壬申	10 癸酉	戌亥
2旬	11 甲戌	12 乙亥	13 丙子	14 丁丑	15 戊寅	16 己卯	17 庚辰	18 辛巳	19 壬午	20 癸未	申酉
3旬	21 甲申	22 乙酉	23 丙戌	24 丁亥	25 戊子	26 己丑	27 庚寅	28 辛卯	29 壬辰	30 癸巳	午未
4旬	31 甲午	32 乙未	33 丙申	34 丁酉	35 戊戌	36 己亥	37 庚子	38 辛丑	39 壬寅	40 癸卯	辰巳
5旬	41 甲辰	42 乙巳	43 丙午	44 丁未	45 戊申	46 己酉	47 庚戌	48 辛亥	49 壬子	50 癸丑	寅卯
6旬	51 甲寅	52 乙卯	53 丙辰	54 丁巳	55 戊午	56 己未	57 庚申	58 辛酉	59 壬戌	60 癸亥	子丑

空亡は算命学では天冲殺、六星占術では大殺界  
空亡の作用は「吉は吉ならず、凶は凶ならず」



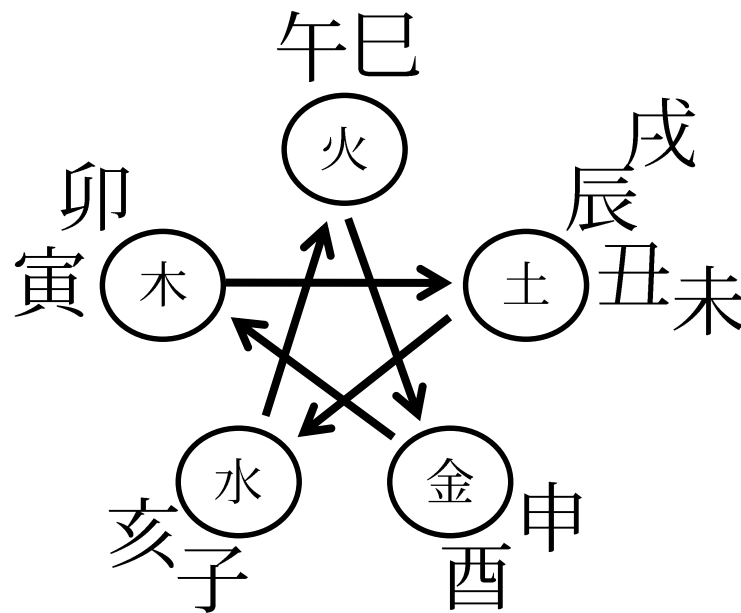
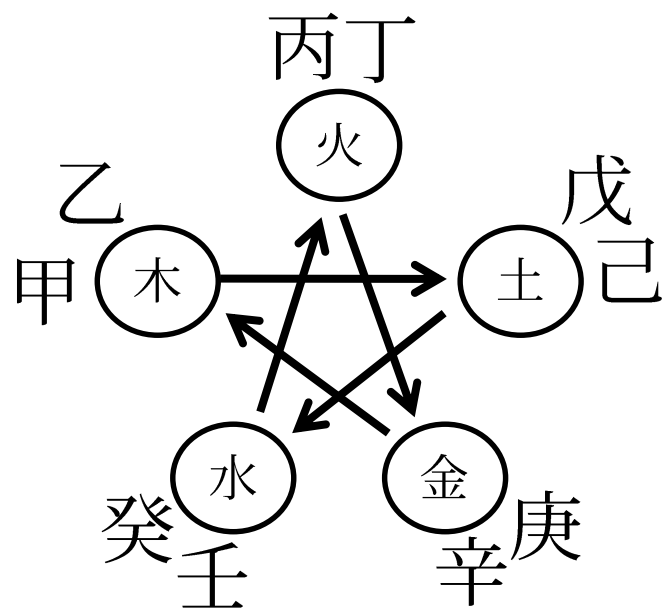
# 十干・十二支と相生



辰と丑を湿土、戌と未を燥土ともいい、戌未の五行を火として申酉を剋すこともある。



# 十干・十二支と相剋



陽と陽、陰と陰の剋は無情・・・十干は七殺、十二支は冲  
 陽と陰、陰と陽の剋は有情

- 例 ● 甲剋戊は無情  
 戊にとって甲を七殺と呼ぶ
- 甲剋己は有情  
 甲と己を干合と呼び吉  
 陽が夫で陰が妻の夫婦関係

- 例 ● 寅剋辰は無情  
 ● 寅剋丑は有情  
 ● 子剋午は無情・冲と呼び凶  
 ● 子剋巳は有情・絶と呼び凶
- 例 ● 甲剋辰は無情  
 ● 子剋丁は有情

## 三奇

甲戌庚は天三奇・・・偉い人に縁がある

乙丙丁は地三奇・・・思いがけない良いことに縁がある

壬癸辛は人三奇・・・友人や身内に縁がある

十干と十二支にはそれぞれ意味がありますが、陰陽五行の法則が加わるとより複雑な解釈ができます。これらを基にして占い(現代予測学)は構築されていきます。



第2回は  
「四柱・時空」

